

QUESTION

3月定例議会では7日4名、8日4名の議員が一般質問を行いました。
質問方式は一問一答方式で、議員の持ち時間は1人30分です。

どうなる国の体感測定！

町長

3月に再度の体感測定！



三浦千尋 議員

答 航空機騒音という過重負担を、国に強く訴えていくことが、一番大切だと思っています。今後も、皆さんと連携し取り組んでいきたいと思っています。

問 新富町は新田原基地開設以来、基地に対して協力し、また、隊員官舎の空室への居住を求めてきたが、現状は改善出来たか。

答 2月1日現在、93室が空室である。

問 騒音センター見直し案に対する町の対策

答 残念ながらスピーチ立場で強く要請してきました。スピード化は図られたのか。



急がれる宅地政策



中山英雄 議員

引き続き一緒に要望

激甚地区区長会要望への回答は

ド化は感じられない。

13日の週と聞いている

様々な問題解決が

が内容は不明。他の週

出来ていなか縮小

を希望している。

案は町民の意志と正反対だ。

問 様々な問題解決が

が内容は不明。他の週

出来ていなか縮小

を希望している。

答 これ迄の町が望んでいたことは違つて

いる。これ迄通り受け入れられない。

問 防衛大臣国会答弁

では地元の意見をしつかり聞くとの方針で、

答 3月に改めて体感測定と聞いています。内容は、日程について3月

では地元の意見をしつかり聞くとの方針で、

答 平成28年に発生した自然災害に対する町の対応について伺う。

答 農業用ハウスの施設災害については国

の対応について伺う。

答 農業用ハウスの施

設災害については国

の対応について伺う。

答 農業用ハウスの施

台風により被害を受けた施設建設事業に補助された国から見ええた風景

答 新田原基地周辺騒音激甚地区区長会の平成28年度要望に対する回答について伺う。

答 激甚地区区長会が毎年行っている騒音対策や騒音被害補償についての要望への回答は、

答 新田原基地、九州防衛局の担当者が直接、激甚地区区長会に行つて、

答 一緒に要望していく。



どうなる騒音センター見直し

騒音センター見直し案二種区域の対策は

町長 国が責任を持つて行うべき



丹 邦敏 議員

問 健康づくりについて、本町で医療費上位の腎不全や糖尿病疾患対策として、チームを編成し戦略的に重症化予防対策することにより、大きな効果があると思うが見識を伺う。

答 町では、新富町健康増進計画や第2期特

定健康診査等計画に基づき、健診未受診者への啓発活動や受診者に

対する、食生活改善指導などの生活習慣病の重症化を防ぐため様々な取り組みを行っています。又、平成29年度から新規事業として、歯周病の個別検診や消

防団員健診を実施すると共に、特定健診の受診率の向上に努めています。

答 「防除と対策についてのパンフレット」を配布し農家指導を行っています。救済については共済で対応し、

答 第二種区域も2月

に航空機騒音の体感・測定を実施しています。

答 その結果等が示された後、総合的に判断していきたい。

答 第二種区域も2月

に航空機騒音の体感・測定を実施しています。

答 その結果等が示された後、総合的に判断していきたい。

答 第二種区域も2月

に航空機騒音の体感・測定を実施しています。

りについて、大和圃場整備は県に施行申請が提出されました。農地約1.8haの創設換地の活用方法は。

答 地元の意向を踏まえ検討していきたい。

答 国の騒音区域見直しについて、今後の対応として第二種区域に応じて第二種区域に

助成については、現状ではその段階ではない。

答 第二種区域も2月

に航空機騒音の体感・測定を実施しています。

答 その結果等が示された後、総合的に判断していきたい。

答 第二種区域も2月

に航空機騒音の体感・測定を実施しています。

町長

資源の有効活用に万全を期す



吉田 憲市 議員

問 新田西地区の土地基盤整備進捗状況について。

答 農地整備促進協議会において、平成28年

度追加となつたエリアを含めた、約150haにおいて約98%の仮同意を得て、本年度から約155件の相続人調査を、実施している所

あります。

問 新富町総合交流セ

ンター「きらり」の利

用状況について。

答 まちづくり実施計

画について、多数反対する意見が出ているが、

どう対応されるのか。

答 計画であり、実施するの

答 集客数は、2月現

在で延べ12万人の方が、

利用されています。維持管理費については、

当初計上した範囲で賄

える見込みであります。

問 まちづくり実施計

画について、多数反対する意見が出ているが、

どう対応されるのか。

答 計画であり、実施するの

農産物などを利用した付加価値の高い商品開

発や、町内にある資源

を有効活用する事業を

推進してまいります。

問 町内資源の有効利

用について。

答 町内で生産される農産物などを利用した付加価値の高い商品開

発や、町内にある資源

を有効活用する事業を

推進してまいります。

問 建設予定の、緑地広場について。

答 国の直轄事業とし

て、全体で約4900m²の敷地面積に眺望施

設やトイレを設置し、

広場には芝を張り、遊歩道が計画されています。



新富町総合交流センター

町のまちづくりは大丈夫か？

町長



櫻井盛生 議員

町民説明会の実施を検討している



観光・地域づくりの拠点となる
日向新富駅舎

まちづくり事業に
65億円かけ、温泉施設・
宿泊施設・商品加工施
設・航空資料館・物品
販売施設・フットボーリ
ルセンター等を造ろう

とし、維持管理費2億
6千万円かかる等、新
富の歴史がない事業を

始めようとしており、
成功すればいいが、失
敗すれば大変なことに
なる。それよりも企業
誘致・住宅政策・六次
産業の創出・既存の觀
光施設の整備に努力す
べきと考えるが、充分
検討のうえ、判断して
頂きたい。

ており、町の維持費負
担額は、年間数千万円
に圧縮できる。集客人

間も民間投資を期待し
てほしいところであり
ます。

始めようとしており、
成功すればいいが、失
敗すれば大変なことに
なる。それよりも企業
誘致・住宅政策・六次
産業の創出・既存の觀
光施設の整備に努力す
べきと考えるが、充分
検討のうえ、判断して
頂きたい。

口45万人増の場合・経
済効果年間24億円・雇
用180人を見込んで
いる。民間事業者等が
総意工夫を凝らし、事
業発展と継続につなげ
ていきたい。町民への
説明会も検討していま
す。

この事業は地域の
稼ぐ力を引き出すため
として財団法人を組織
するもので、商品の開
発販売・販路の拡大・
生産者や事業者の人材
育成等に取り組みます

ます。事業の中に商品
の開発販売が含まれま
すが、いいものを安く
提供する精神で一年で
も早く自立ができるよ
う期待している。

答 宮崎日日新聞社に



町長

年間45万人の集客増を見込む まちづくり実施計画は

問 まちづくり実施計
画の新聞報道について
は、時期尚早ではない
か。

おかげでは、今回の公
表内容はもちろんのこと、
実施計画を熱心に
ご議論いただいた検討
委員会をはじめ、中間
報告させていただいた
新旧の区長会も取材さ
れていたようでした。
これを踏まえ報道機関
として、当該新聞社の

答 本事業で整備予定
の施設内、航空資料
館で約20万人、フット
ボールセンターで約12
万人、温泉センターで
約13万人の新規来場者
を見込んでおります。

問 プロサッカーチー
ムのキャンプ誘致は計
画として、将来自は、施
設の稼働状況等を勘案し、
検討していく事になると思
います。

ご判断で、誌面に掲載
されたものと推察いた
します。

答 現在のところ本町
で計画している「宮崎
県フットボールセン
ター」では当面は、小
中学生や社会人といっ
たアマチュア層を集客
ターゲットと考えてお
ります。



「まちづくり実施
計画」のイメージ図



空調機の更新は早期対応を！

防音、空調工事の優先基準は

町長



倉永豪修 議員

高齢者、障がい者、乳幼児世帯を優先

なつたが、その用途は。

道路の改良、防犯

灯の設置、防災資材、

基金などに充当、国か

らは年度毎の予算とな

る予定。

産後ケアを含めた

包括的な子育て支援体

制の整備に取り組み、

費用助成について。

出産後の母親検診

今後助成の在り方を検

討したい。

平成28年10月1日

予防接種公費負担につ

いて。

0歳児B型肝炎の

から定期予防接種とし

て実施することになっ

たため個人負担は無料。

新生児聴覚検査の

本町における取組は。

県内の医療機関と

騒音対策、国との「協定」は

町長



吉田貴行 議員

「地元要望を踏まえ」となっている

①新田原基地問題について。(1)地上騒音対策の現状は。(2)コンターカー見直しの現状について。(3)環境基準についてなど

答 うなつているのか。
①エンジンテストの消音サイレンサーの設置、防音壁の設置などの対策がとられています。②国が三月に再度の体感・測定を行う予定と聞いています。今後の動向を注視していきたい。(3)新富町は一

答 うなつているのか。
①所属長の命令により、時間外勤務を行つており、総務財政課に提出された時間外勤務命令書により、把握しています。

②機構改革は社会経済環境の変化や多様化する住民ニーズに対応するため、適時実施をしていきます。

連携して検査等が円滑に行われるよう協議してまいりたい。

HPV検査を導入する。

精神障がい者も公

費負担補助金交付要綱

の対象に加えて頂きた

い。

県との調整もある

ので、検討してまいりたい。

成年後見人の担い

手育成と利用促進について。

隣接市町村と協力して、担い手育成、適切な保護、支援に努めたい。

成年後見人の担い

手育成と利用促進について。

57デシベル以下、二類は

62デシベル以下となつて

いる。

直しは平成19年の「協定」に違反していると

57デシベル以下となつて

いる。



抜本的な地上騒音対策を

議会活動

文教厚生常任委員会視察報告



大和市で研修を受ける委員会

文教厚生常任委員会
7名は、平成28年10月
3日～5日、政策提案
能力の向上をはかるた
め、先進地における行
政調査を行いました。

○市民の健康に寄与で
きるよう単独で健康づ
くり推進課を設け、「人
の健康」・「町の健康」・
「社会の健康」を宣言し、
10か年計画で重症化予
防等に取り組んでいる。

○活動内容

- ・対象者の個別訪問によつて現状を確認し、指導を行う。
- ・指導者は資格を有する保健師、管理栄養士。
- ・訪問は平成25年から

神奈川県大和市
○「大和市における管
理栄養士による糖尿病
腎症重症化予防活動」
大和市は厚木基地を
有し、人口約23万人で、
今も人口が増加してい
る状況にある。

○運動量の変化（歩数の増加・運動量の増加）
③その他の変化（服薬の適正化・血圧測定の習慣化）
・※HbA1cの改善（約5割）
・慢性腎臓病ステージ維持（8割以上）
・医療費削減

- ①食事内容の変化（適正エネルギー摂取・効果）
- ②運動量の変化（歩数の増加・運動量の増加）
- ③その他の変化（服薬の適正化・血圧測定の習慣化）
- ・新田原基地所属の戦闘機等の事故（墜落含む）は37件、死亡39名である。安全性の確保を国に主張すると共に、こうした観点で本町住民は優遇されるべき。
- ・飛行機事故の危険性を情報提供するべき。
- ・世界の状況が変化する中で、国の状況が厳しさを増す。国の回答が不満足な場合、議会はどう対応するのか。
- ・町の西玄関としてスマートインターチェンジの設置をお願いする。
- ・町が設置した光通信は値下げ等のメリットが享受できない。
- ・議会の活動を配信するべき。
- ・議会活動報告は終わらせず、またて良い。
- ・もつと解り易い内容の報告を求める。
- ・報告会で終わらせずに、質疑の時間が不足。多くの意見を聞きたい。
- ・報告会で終わらせずに、質疑の時間が不足。多くの意見を聞きたい。
- ・断固として反対で、赤字から抜け出せない。

開始され、当初はモデル地区を指定し活動していた。現在は市内全地区で展開されている。

○所見
本町においても医療されている。滑走路に問題は同じであるので、町民の健康づくりに対し横方向の調査がさ

れるか。
・二種区域の拡張が示されている。滑走路に移転跡地に作ることに疑問。

○その他
・新田原基地所属の戦闘機等の事故（墜落含む）は37件、死亡39名である。安全性の確保を国に主張すると共に、こうした観点で本町住民は優遇されるべき。

・二種区域の拡張が示

第7回議会報告会

平成29年2月17日
(金) 新富町総合交流センターで議会報告会

実施内容
○町民の出席数
○アンケート数
各委員会の所管事務
調査と要望活動を中心とした活動報告と報告

内容についての質疑及び町政全般についての質疑を実施しました。

意見等の概要

○今後の課題
・医師会等や、かかりつけ医師との医療連携
・円滑に導入するための地域との体制づくり
・優先順位を決め、限られた人材で戦略的に個別訪問に取り組む事

○コンター見直し問題
・区長会で反対している。議会の対応は、基

地との友好関係が縮小につながっていないか。

・町の固定負債が今度の計画を含めると80億円の借金となり、本町の予算に匹敵する。

・民間資金の活用につ

アンケート

◎議会活動報告

・報告内容は良くまとまつて良い。

・もつと解り易い内容

の報告を求める。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。
・断固として反対で、
赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ

ずに生かすこと。

・質疑の時間が不足。

多くの意見を聞きたい。

・断固として反対で、

赤字から抜け出せない。

・報告会で終わらせ



熱のこもった議論が展開された
議会報告会

- ・防衛省に強い対応を。
・国は協力的な町とそ
うでない町との区別対
応をすべき。
- ・第二種区域の横方向
にさらなる拡大を。
- ◎まちづくり事業
- ・反対・危惧する意見
が多数。
- ・市民の福祉と健康推
進の拠点として推進。
- ・物真似でなく斬新な
ものを期待。遠大な理
想郷を目指せ。
- ・維持管理費、危険区
域での施設づくりは問
題。集客、計画の甘さ

- の広がりを懸念。
- ◎その他
- ・空調機更新の短縮化。
- ・町内への移住促進、
若者の定住対策を。
- ・一つ瀬橋の歩道・自
転車道の確保。
- ◎議会に関すること
- ・若い議員が選挙に出
られる環境整備。
- ・地域別のミニ報告会
の実施。
- ・町民に責任を持つる
議会を。

- ①まちづくり事業の執
行部による住民説明会
の開催を求める。
- ②防音センター見直し
で、防衛省による住民
説明会を求める。
- ③過去の行政調査等が
町政に反映された事案
の検証。
- ④年次計画の中で、町
民と対話の機会づくり。
- ⑤町民の知りたい情報
に対する丁寧な説明。
- ⑥議事進行においては
事前に質問時間を設定
し、多くの方の発言機
会の確保が必要。
- 等があげられます。

今年2月2日に委員会として、防衛省を訪問して、防衛局長と面談しました。若宮副大臣は、騒音問題は大変重要と認識し、実際の状況を把握するために、本県出身の国會議員や公明党の浜地議員も同行され、地元の厳しい騒音や住民の声を聴いて欲しい等々、応援していただきました。

本県出身の国會議員や公明党の浜地議員も同行され、地元の厳しい騒音や住民の声を聴いて欲しい等々、応援していただきました。

尚、再編交付金の向こう10年間にに対する予算措置が決定したことによって参ります。

に即するとともに、これまでの住民負担の理解がかなうよう要望しています。

尚、再編交付金の向こう10年間にに対する予算措置が決定したことによって参ります。

は、大変意義のあることとして、受け止めたことを考えてています。

結果、本年2月と3月の2回、体感測定が実行され、全議員で測定地点を視察し見守つたところです。

今後は、冬に限らず他の季節による体感測定の必要性を粘り強く訴えていきます。実態

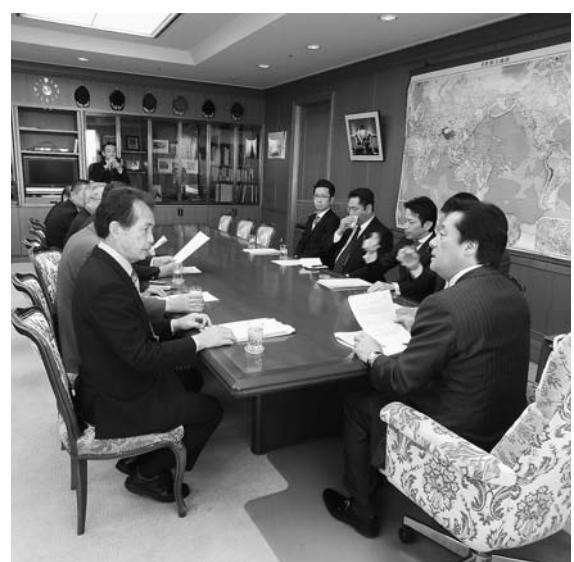
いただき、現状を共有するためにも実際の音を体感したいとの、回答を得る事が出来ました。

深山地方協力局長に聞いて対応していきたい。おいても、改めて地元のお話を聞かせてください。今後とも町民の議会に対する期待に応えていかなければならぬことを痛感し報告と致します。

深山地方協力局長に聞いて対応していきたい。おいても、改めて地元のお話を聞かせてください。今後は、冬に限らず他の季節による体感測定の必要性を粘り強く訴えていきます。実態

総括

基地対策特別委員会要望活動報告



防衛副大臣に面談する委員会

力・メ・ラ・探・訪



日向夏



新田学園入学式



総合交流センターで行われた 一周年記念ピアノコンサート



▲赤いチューリップ
花言葉は「愛の告白」



事前合宿地を視察するオーストラリア 視察団（富田浜レガッタ会場）

昨年町議会において、町づくりや災害時に活用するため、スマートＩＣの整備を求める一般質問が行われていました。町の答弁は、西都ＩＣ、高鍋ＩＣに近いことや両ＩＣの交通量を上回る必要があることなどを理由に非常に厳しいとのことでした。

町当局の答弁に一定の理解はできるものの、整備効果をしつかりと精査し、今後も継続的に必要性を国等に訴えて頂きました。上新田地区 H・H

新田に住んで早60有余年。新田地区を見ると御多分に洩れず過疎化の波が激しい。
幼児・小学生の声がご近所から聞こえない。
見えるのは高齢者の姿のみである。新田地区にはグラウンドゴルフなど高齢者の楽しむ緑地広場も公園もない。
せめて、子供からお年寄りまで楽しめる「多目的緑地広場」が欲しい。

これまでの観光協会に代わる一般財団法人「こゆ地域づくり推進機構」を立ち上げるための日本版DMO形成事業補助金が提案された。

また、まちづくり事業に
対して、議会では、13名に
よる「まちづくり事業特別
委員会」を設置し、調査研
究すると共に血税の有効活
用に万全を期することとな
つた。

※連絡先	議会事務局	議会広報特別委員会
TEL		委員長 永友正章
333-1613		副委員長 高野賢治
9	大木俊二	委員 吉田貴行 阿萬誠郎
	吉田憲市	

町民の声

編集後記